

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 4 2 号	
件 名	新潟市の1兆円の莫大な借金を減らし財政の健全化を進めることについて	
要 旨	<p>現在の新潟市の財政は約1兆円の借金を抱える赤字倒産一步手前の状況になっています。1兆円の借金は、毎年100億円返しても100年もかかる莫大な借金です。80万市民1人当たり125万円、1世帯当たり297万円もの借金です。金利を年0.1%で計算して、毎年10億円もの利息を支払っていることとなります、</p> <p>平成28年度末での財政状況は、市債残高（見込み）9,959億円です（財務課資料より）。内訳は、一般会計5,829億円、特別会計107億円、企業会計4,023億円。なお、一般会計は、一般家庭に置きかえるなら生活費に当たります。その新潟市の生活費の借金が5,829億円です。一般家庭ならば破綻している借金です。</p> <p>平成29年度の年間予算が3,975億円です。生活費の借金が平成29年度の年間予算をはるかに超えている現状です。一日でも早くの財政の健全化を必要とします。</p> <p>参考に、過年度の市債残高の推移は、平成20年度8,119億円、平成21年度8,305億円、平成22年度8,469億円、平成23年度8,785億円、平成24年度9,042億円、平成25年度9,343億円、平成26年度9,617億円、平成27年度9,737億円、平成28年度9,959億円となります（新潟市ホームページから）。</p> <p>過年、1955年に、見附市出身の参議院議員であった北村一男氏が、新潟県の財政と経済の再建を掲げて新潟県知事に立候補、当選して、2期にわたりその業績を残されました。</p> <p>これを教訓に、新潟市も行政と議会が協力して、早急に財政の健全化を進めることを求め、以下について陳情します。</p> <p style="text-align: right;">（裏面につづく）</p>	
付 託 年月日 委員会	平成29年6月22日	第1項 第2項 } 総務常任委員会
受 理	平成29年6月14日	第110号

	<p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none">1 新潟市の不要不急の事業を事業仕分けの実施などにより財政の健全化を図ること。2 必要により、議員も含め管理職以上の新潟市職員に協力を求め、「株式会社新潟市」の考え、手法を導入し財政の健全化を図ること。
--	---